

# 発電設備等系統アクセス業務に係る情報の取りまとめ

(2022年4月～6月の受付・回答分)

2022年9月



**電力広域的運営推進機関**

Organization for Cross-regional Coordination of  
Transmission Operators, JAPAN

## - はじめに -

電力広域的運営推進機関（以下、広域機関という。）は、業務規程第100条の規定に基づき、系統アクセス業務に関する実績について公表している。

今回、2022年度第1四半期（2022年4月～2022年6月）の系統アクセス業務に関する実績（受付及び回答状況）を取りまとめたので、公表する。

なお、本資料の取りまとめについては、前年度の公表資料（2021年度の受付・回答分）から以下のとおり記載内容を変更している。

① 2022年4月1日の接続検討申込書の様式変更に伴い、近年の申込み状況を鑑みて、電源種別に揚水と蓄電池を追加。

- 目次 -

1. 対象電源	3
2. 集計結果	4
2.1 事前相談	4
2.1.1 受付件数	4
2.2 接続検討	5
2.2.1 受付件数	5
2.2.2 電源種別毎の受付件数	6
2.2.3 回答件数	7
2.2.4 検討期間	8
2.2.5 回答予定日超過案件（検討継続中(未回答)）の状況	10
2.3 契約申込み	11
2.3.1 受付件数	11
2.3.2 電源種別毎の受付件数	12
2.3.3 回答件数	13
2.3.4 検討期間	14
2.3.5 回答予定日超過案件（検討継続中(未回答)）の状況	16
<参考 1>年度推移	17
(1) 事前相談	17
(2) 接続検討	18
(3) 契約申込み	19
<参考 2>電源接続案件一括検討プロセス実施状況	20

## 1. 対象電源

2015年4月1日以降に広域機関及び一般送配電事業者において系統アクセス業務に係る受付または回答を行った最大受電電力500キロワット以上の発電設備等の案件を対象とする。なお、発電容量の増加を伴わない改修等も含む。

また、本資料において、各事業者名称は下記の略称で記載する。

事業者名称	本資料における略称
北海道電力ネットワーク株式会社	北海道NW
東北電力ネットワーク株式会社	東北NW
東京電力パワーグリッド株式会社	東京PG
中部電力パワーグリッド株式会社	中部PG
北陸電力送配電株式会社	北陸送配
関西電力送配電株式会社	関西送配
中国電力ネットワーク株式会社	中国NW
四国電力送配電株式会社	四国送配
九州電力送配電株式会社	九州送配
沖縄電力株式会社	沖縄電力

## 2. 集計結果

### 2.1. 事前相談

#### 2.1.1. 受付件数

2022年度第1四半期（2022年4月～2022年6月）に受付を行った事前相談の件数は以下のとおり。事前相談の受付件数は、前年度同時期と比較して増加しており、特に中部が大幅に増加。

表1 事前相談の受付件数（広域機関および一般送配電事業者別）（件）

受付会社	前年度同時期（2021.4～6月）			今回（2022.4～6月）			増減
	特別高圧	高圧	合計	特別高圧	高圧	合計	
広域機関※1	6	0	6	26	0	26	20
北海道NW	67	525	592	203	253	456	▲ 136
東北NW	94	290	384	221	414	635	251
東京PG	144	1,100	1,244	174	577	751	▲ 493
中部PG	40	368	408	107	818	925	517
北陸送配	30	82	112	27	50	77	▲ 35
関西送配	60	407	467	139	689	828	361
中国NW	64	246	310	108	307	415	105
四国送配	13	104	117	14	198	212	95
九州送配	121	280	401	172	442	614	213
沖縄電力	2	12	14	0	5	5	▲ 9
合計	641	3,414	4,055	1,191	3,753	4,944	889

※1 広域機関は発電設備等の出力の合計値が1万キロワット以上である申込みを受け付ける。

※2 同一事業者が同一発電場所において異なった容量の申込みを複数行っている場合もそれぞれ計上している。

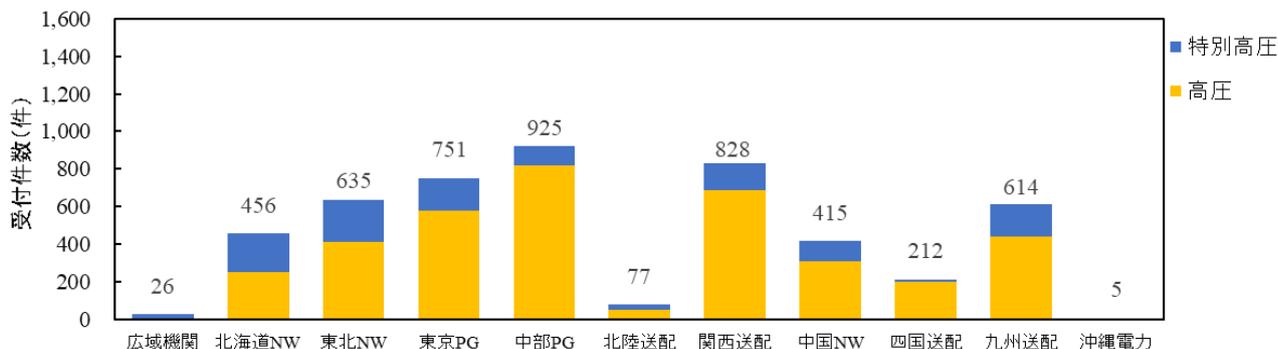


図1 事前相談の受付件数（広域機関および一般送配電事業者別）

[2022年度4月～6月]

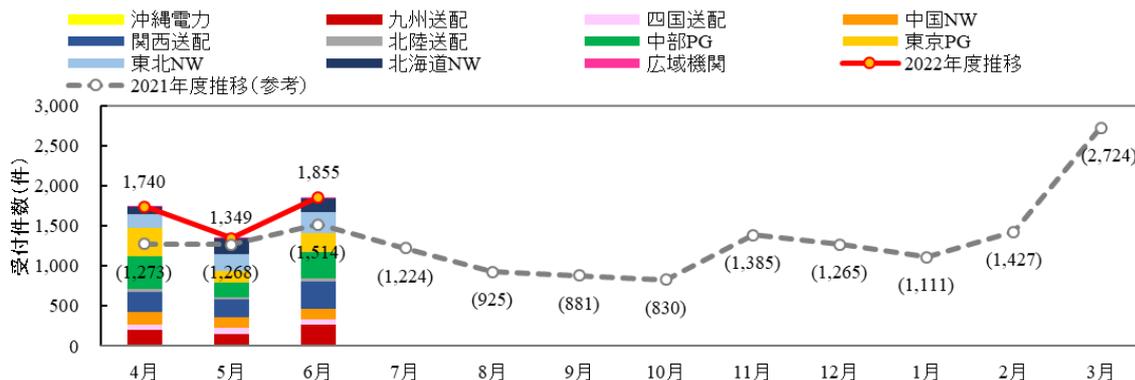


図2 事前相談 受付件数（広域機関＋一般送配電事業者合計）

[2022年度]

## 2.2. 接続検討

### 2.2.1. 受付件数

2022年度第1四半期（2022年4月～2022年6月）に受付を行った接続検討の件数は以下のとおり。接続検討の受付件数は、前年度と比較して全体としては同数程度。一方エリア毎では、東京PGで増加、東北NWで減少。

表2 接続検討の受付件数(広域機関および一般送配電事業者別) (件)

受付会社	前年度同時期 (2021.4～6月)			今回 (2022.4～6月)			増減
	特別高圧	高圧	合計	特別高圧	高圧	合計	
広域機関※1	16	0	16	21	1	22	6
北海道NW	16	60	76	31	52	83	7
東北NW	67	140	207	47	35	82	▲ 125
東京PG	42	221	263	27	370	397	134
中部PG	32	97	129	29	104	133	4
北陸送配	7	13	20	12	8	20	0
関西送配	24	47	71	23	25	48	▲ 23
中国NW	30	29	59	30	28	58	▲ 1
四国送配	8	6	14	6	16	22	8
九州送配	27	28	55	24	35	59	4
沖縄電力	0	0	0	1	1	2	2
合計	269	641	910	251	675	926	16

※1 広域機関は発電設備等の出力の合計値が1万キロワット以上である申込みを受け付ける。

※2 同一事業者が同一発電場所において異なった容量の申込みを複数行っている場合もそれぞれ計上している。

※3 電源接続案件募集プロセスの募集要綱に基づく接続検討の申込みについては集計外としている。

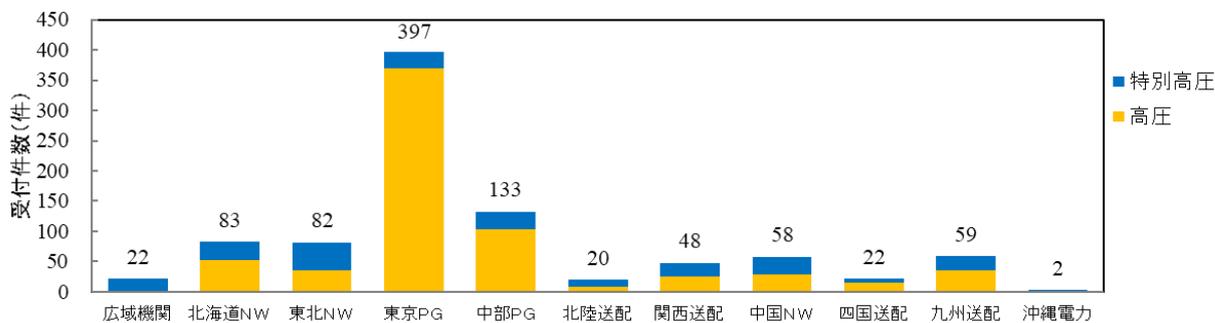


図3 接続検討 受付件数(広域機関および一般送配電事業者別) [2022年度4～6月]

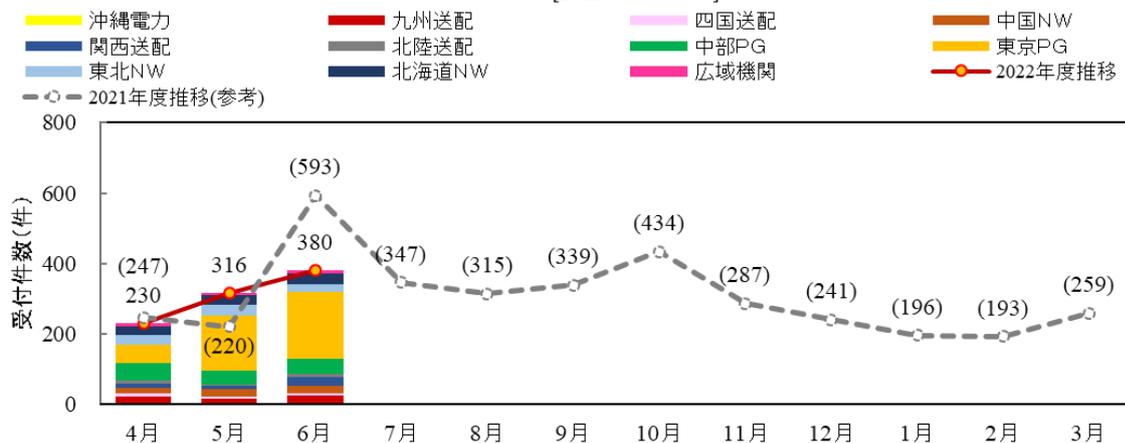


図4 接続検討 受付件数(広域機関+一般送配電事業者合計) [2022年度4～6月]

### 2.2.2. 電源種別毎の受付件数

2022年度第1四半期（2022年4月～2022年6月）に受付を行った接続検討の電源種別ごとの件数は以下のとおり。広域機関にて受け付けた案件については、系統連系を希望する各エリアに計上している。また、接続検討1件に対し複数の電源種別が混在する場合、電源種別件数としては、複数の電源種別でカウントしているため、受付件数の合計値とは一致しない場合がある。

電源種別毎の受付件数は、東北エリアでは風力比率が高く、東京エリアでは太陽光比率が高い。

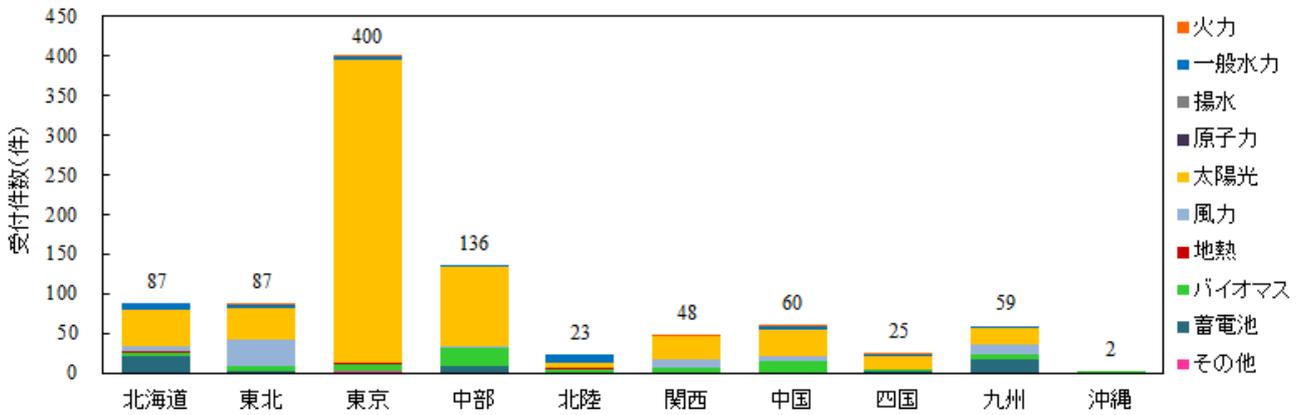


図5 接続検討 電源種別毎の受付件数(エリア別) [2022年度4～6月]

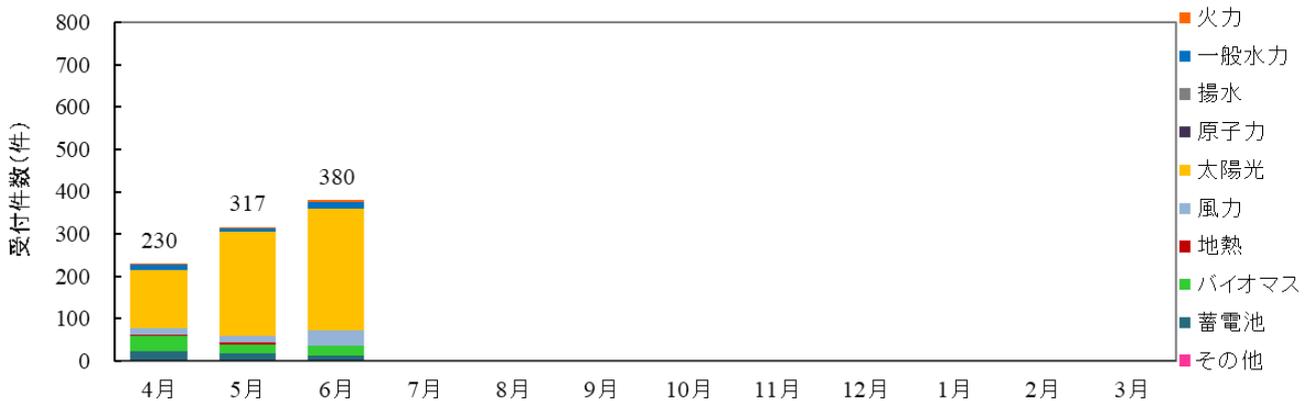


図6 接続検討 電源種別毎の受付件数(全エリア合計) [2022年度4～6月]

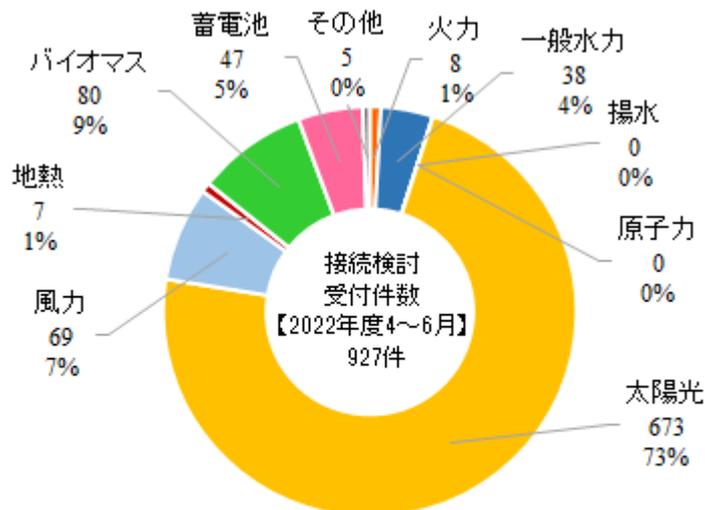


図7 接続検討の電源種別毎の受付件数割合(全エリア合計) [2022年度4～6月]

[円グラフ種別]  
 上段:電源種別  
 中段:件数  
 下段:割合(%)

### 2.2.3. 回答件数

2022年度第1四半期（2022年4月～2022年6月）に回答を行った接続検討の回答件数は以下のとおり。接続検討の回答件数は、前年度と比較して増加。特に、東京PGが増加。

表3 接続検討の回答件数(広域機関および一般送配電事業者別) (件)

受付会社	前年度同時期 (2021.4～6月)						今回 (2022.4～6月)						増減
	特別高圧		高圧		合計		特別高圧		高圧		合計		
広域機関※1	24	(6)	1	(-)	25	(6)	16	(5)	0	(-)	16	(5)	▲ 9
北海道NW	21	(5)	21	(7)	42	(12)	21	(6)	50	(39)	71	(45)	29
東北NW	146	(6)	36	(5)	182	(11)	96	(69)	74	(62)	170	(131)	▲ 12
東京PG	39	(28)	155	(118)	194	(146)	35	(27)	290	(258)	325	(285)	131
中部PG	11	(-)	84	(1)	95	(1)	20	(1)	39	(2)	59	(3)	▲ 36
北陸送配	3	(-)	10	(-)	13	(-)	8	(1)	8	(3)	16	(4)	3
関西送配	15	(-)	35	(-)	50	(-)	12	(-)	25	(-)	37	(-)	▲ 13
中国NW	13	(3)	20	(2)	33	(5)	18	(7)	18	(9)	36	(16)	3
四国送配	1	(-)	9	(4)	10	(4)	5	(1)	6	(2)	11	(3)	1
九州送配	20	(7)	34	(17)	54	(24)	26	(17)	42	(23)	68	(40)	14
沖縄電力	0	(-)	0	(-)	0	(-)	0	(-)	5	(-)	5	(-)	5
合計	293	(55)	405	(154)	698	(209)	257	(134)	557	(398)	814	(532)	116

- ※1 広域機関は発電設備等の出力の合計値が1万キロワット以上である申込みを受け付ける。
- ※2 同一事業者が同一発電場所において異なった容量の申込みを複数行っている場合もそれぞれ計上している。
- ※3 電源接続案件募集プロセスの募集要綱に基づく接続検討の申込みについては集計外としている。
- ※4 ( )内はノンファーム型接続を適用した回答を再掲。

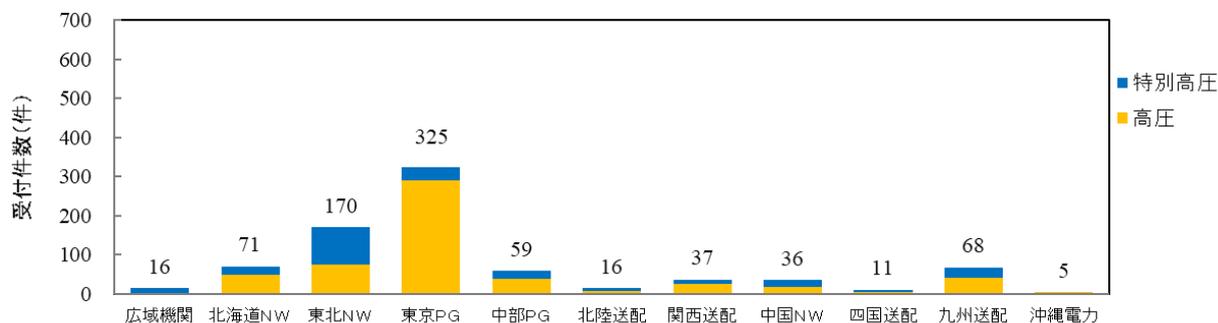


図8 接続検討 回答件数(広域機関および一般送配電事業者別) [2022年度4～6月]

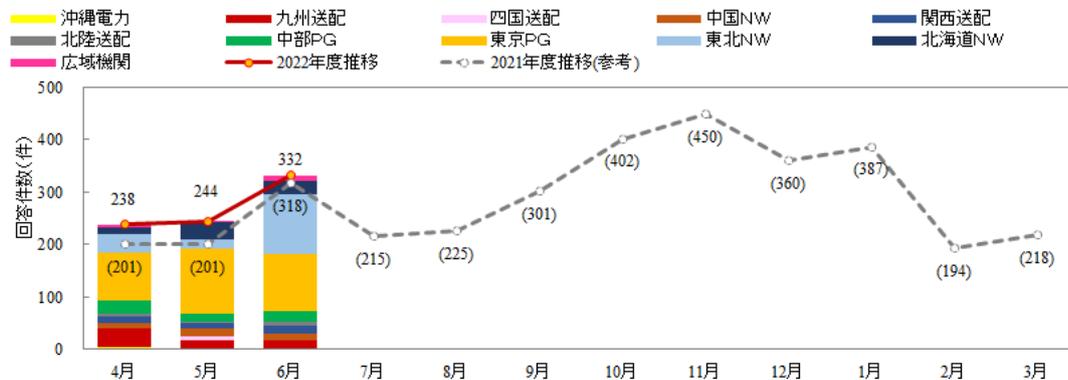


図9 接続検討 回答件数(広域機関+一般送配電事業者) [2022年度4～6月]

## 2.2.4. 検討期間

2022年度第1四半期(2022年4月～2022年6月)に回答を行った接続検討の検討期間は以下のとおり。なお、検討期間は、送配電等業務指針第86条の規定を踏まえ、3か月を標準期間として確認。

接続検討の検討期間(3か月)を超過している件数は、全体の21%。超過理由の主な内容は、受付者都合(申込集中・特殊検討・検討量大)が多い。

表4 接続検討の検討期間(広域機関および一般送配電事業者別)

(件)

受付会社	回答件数	3か月以内	3か月超過	超過理由								
				A	B	C	D	E	F	G	H	I
広域機関※1	16	10	6	0	0	0	1	0	0	0	0	5
北海道NW	71	64	7	0	1	1	5	0	0	0	0	0
東北NW	170	170	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東京PG	325	206	119	2	1	83	33	0	0	0	0	0
中部PG	59	56	3	0	1	0	1	0	1	0	0	0
北陸送配	16	15	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
関西送配	37	37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中国NW	36	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
四国送配	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
九州送配	68	36	32	0	1	1	30	0	0	0	0	0
沖縄電力	5	2	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	814	643	171	5	5	85	70	0	1	0	0	5

※1 広域機関は発電設備等の出力の合計値が1万キロワット以上である申込みを受け付ける。

(接続検討の回答期間)

第86条 一般送配電事業者は、次の各号の区分に応じ、接続検討の回答を、原則として、次の各号に掲げる期間内に行うものとする。

- 一 系統連系希望者が高圧の送電系統への発電設備等(但し、逆変換装置を使用し、容量が500キロワット未満のものに限る。)の連系等を希望する場合 接続検討の申込みの受付日から2か月
- 二 前号に該当しない場合 接続検討の申込みの受付日から3か月

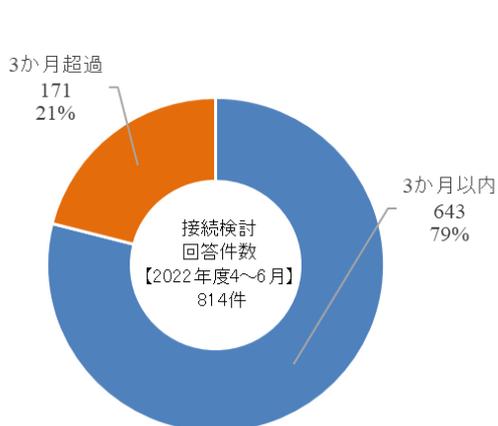


図10 接続検討の回答件数および検討期間実績  
(広域機関+一般送配電事業者合計)  
[2022年度4～6月]

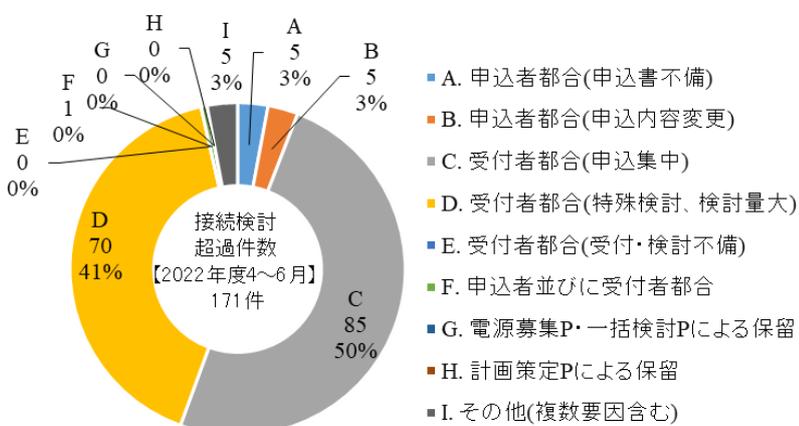


図11 接続検討の回答予定日超過理由  
(広域機関+一般送配電事業者合計)  
[2022年度4～6月]

【円グラフ種別】  
上段:超過理由  
中段:件数  
下段:割合(%)

回答期間超過理由の分類については、以下のとおり。

A. 申込者都合（申込書不備）

申込者の書類不備・不足など申込者に起因する場合

B. 申込者都合（申込内容変更）

申込者による申込後の内容変更など申込者に起因する場合

C. 受付者都合（申込集中）

同一地点や同一時期に申込が集中したなどの理由により、当該一般送配電事業者の検討が輻輳し、検討に時間を要した場合

D. 受付者都合（特殊検討，検討量大）

特殊検討<sup>※1</sup>が必要となるなどの理由により、当該一般送配電事業者の検討量が多く、検討に時間を要した場合

E. 受付者都合（受付・検討不備）

一般送配電事業者の受付や検討に不備があった場合

F. 申込者並びに受付者都合

上記の申込者都合と受付者都合の両方に起因する場合

G. 電源接続案件募集プロセス・電源接続案件一括検討プロセス

電源接続案件募集プロセス<sup>※2</sup>および電源接続案件一括検討プロセス<sup>※2</sup>の募集締切後、系統状況が確定するまで回答保留している場合

H. 計画策定Pによる保留

計画策定プロセス<sup>※3</sup>の開始に伴い系統状況が確定するまで回答保留している場合

I. その他（複数要因含む）

上記以外の理由によるもの

※1 特殊検討例は、以下の通り

- ・合理的な設備形成の検討に時間を要しているため  
（事業者提案にあたり複数案の工事が考えられる場合などにその決定までに時間を要す）
- ・上位系統増強工事が発生することで検討量が増加したため
- ・近隣で既に複数の先行事業者が連系しており、最適な配電線ルート選定に時間を要したため
- ・当該案件とは別の設備増強工事等が絡み、工事内容について多様な検討（精査）が必要となったため
- ・検討途中での大規模電源の連系申込みに伴い、対策内容の再検討が必要となったため

※2 近隣の電源接続の可能性を募り、複数の電気供給事業者により工事費負担金を共同負担して系統増強を行う手続きのこと

※3 広域系統整備計画の策定において必要となる手続きのこと

### 2.2.5. 回答予定日超過案件（検討継続中(未回答)）の状況

2022年度第1四半期末（2022年6月末）時点において回答予定日を超過し、かつ検討継続中（未回答）である件数は以下のとおり。

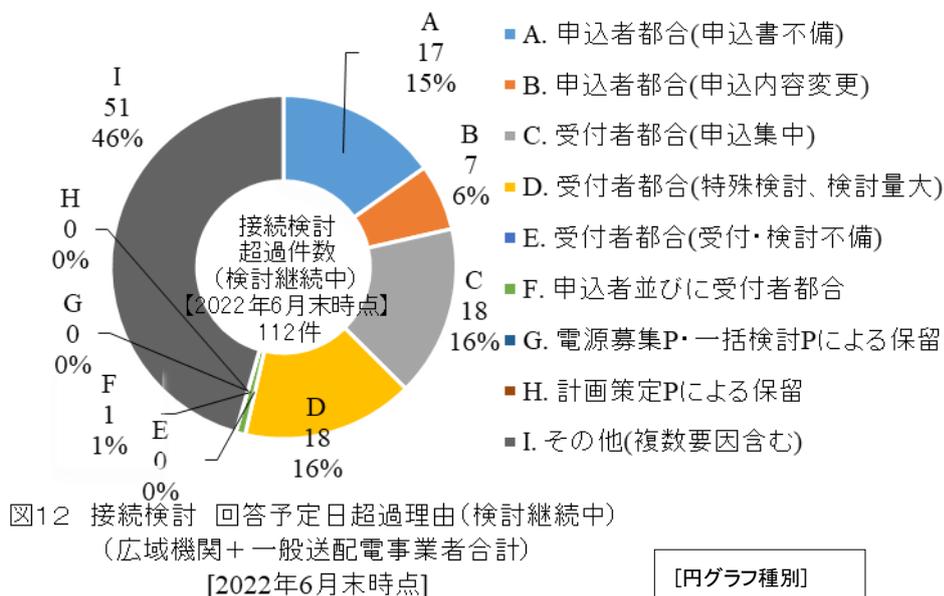
表5 接続検討の回答予定日超過件数（検討継続中(未回答)）

（広域機関および一般送配電事業者の合計）

（件）

受付会社	2022年3月末	2022年6月末	増減
広域機関	5	0	▲ 5
北海道NW	55	55	0
東北NW	21	5	▲ 16
東京PG	82	34	▲ 48
中部PG	0	2	2
北陸送配	6	6	0
関西送配	0	1	1
中国NW	3	1	▲ 2
四国送配	0	0	0
九州送配	9	8	▲ 1
沖縄電力	3	0	▲ 3
合計	184	112	▲ 72

※1 電源接続案件募集プロセスの募集要綱に基づく接続検討の申込みについては集計外としている。



## 2.3. 契約申込み

### 2.3.1. 受付件数

2022年度第1四半期(2022年4月～2022年6月)に受付を行った契約申込みの件数は以下のとおり。契約申込みの受付件数は、前年度同時期と比較して同数程度であり、エリア別では、東京PG、東北NWで増加。

表6 契約申込みの受付件数(一般送配電事業者合計)

(件)

受付会社	前年度同時期(2021.4～6月)			今回(2022.4～6月)			増減
	特別高圧	高圧	合計	特別高圧	高圧	合計	
北海道NW	2	7	9	2	11	13	4
東北NW	27	9	36	29	24	53	17
東京PG	5	69	74	5	90	95	21
中部PG	6	15	21	3	19	22	1
北陸送配	4	2	6	1	2	3	▲3
関西送配	13	13	26	4	16	20	▲6
中国NW	3	6	9	3	6	9	0
四国送配	1	4	5	2	1	3	▲2
九州送配	7	9	16	3	7	10	▲6
沖縄電力	2	0	2	0	1	1	▲1
合計	70	134	204	52	177	229	25

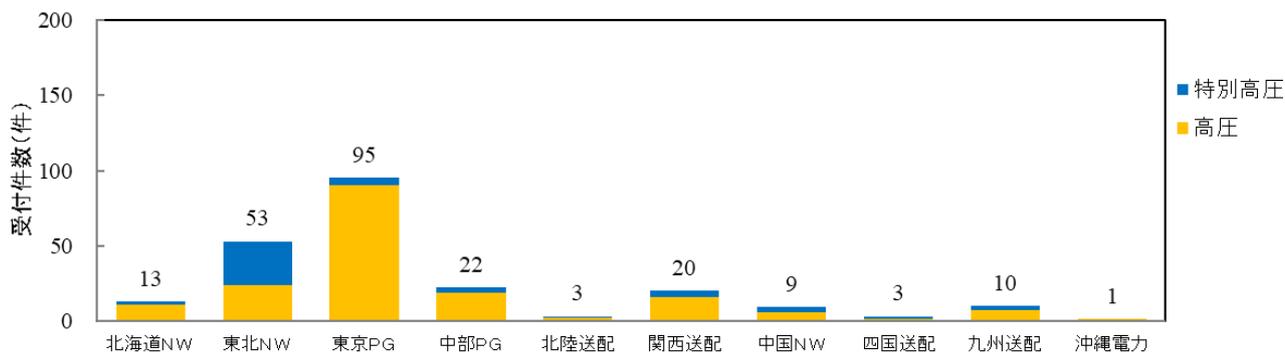


図13 契約申込み 受付件数(広域機関および一般送配電事業者別)  
[2022年度4～6月]

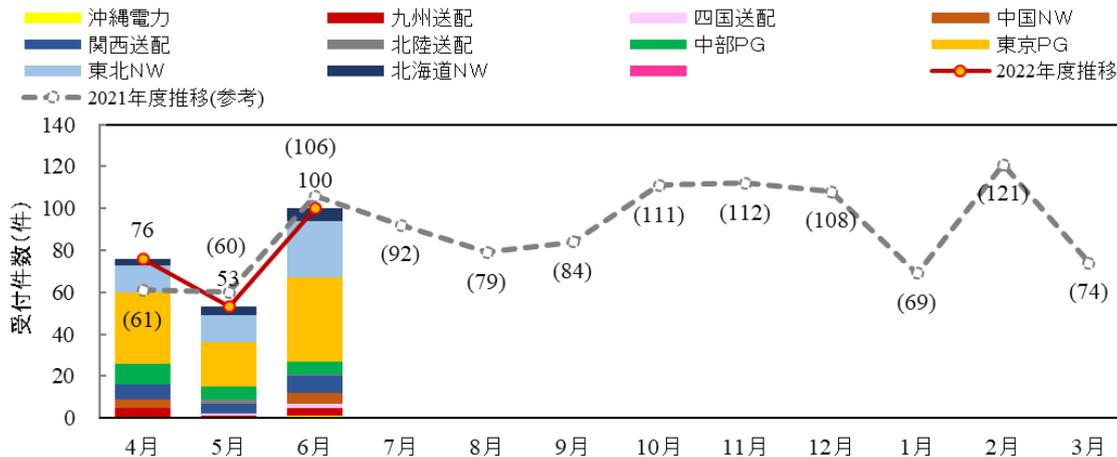


図14 契約申込み 受付件数(広域機関+一般送配電事業者合計)  
[2022年度4～6月]

### 2.3.2. 電源種別毎の受付件数

2022年度第1四半期（2022年4月～2022年6月）に受付を行った契約申込みの電源種別の件数は以下のとおり。契約申込み1件に対し複数の電源種別が混在する場合、電源種別件数としては、複数の電源種別でカウントしているため、受付件数の合計値とは一致しない場合がある。

電源種別毎の受付件数の比率は太陽光が高く約3/4を占めている。

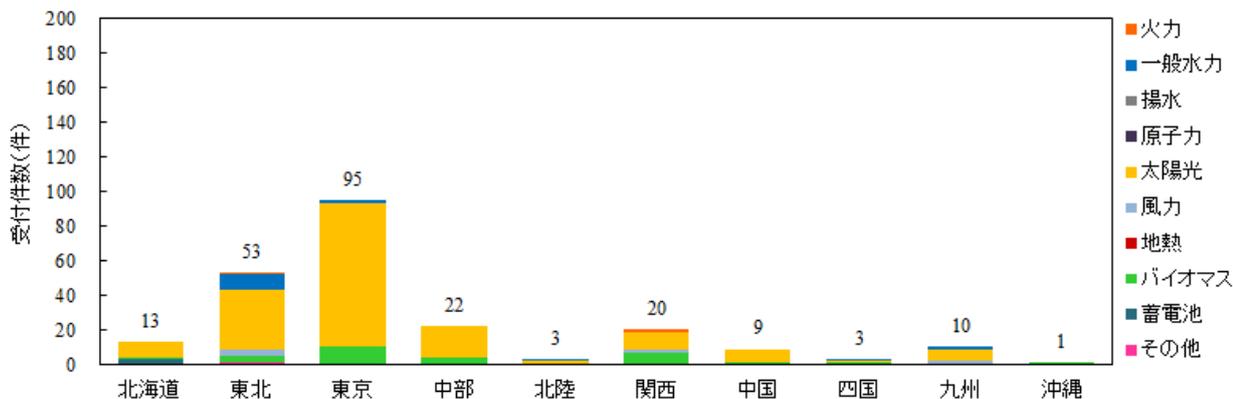


図15 契約申込み 電源種別毎の受付件数(エリア別)  
[2022年度4～6月]

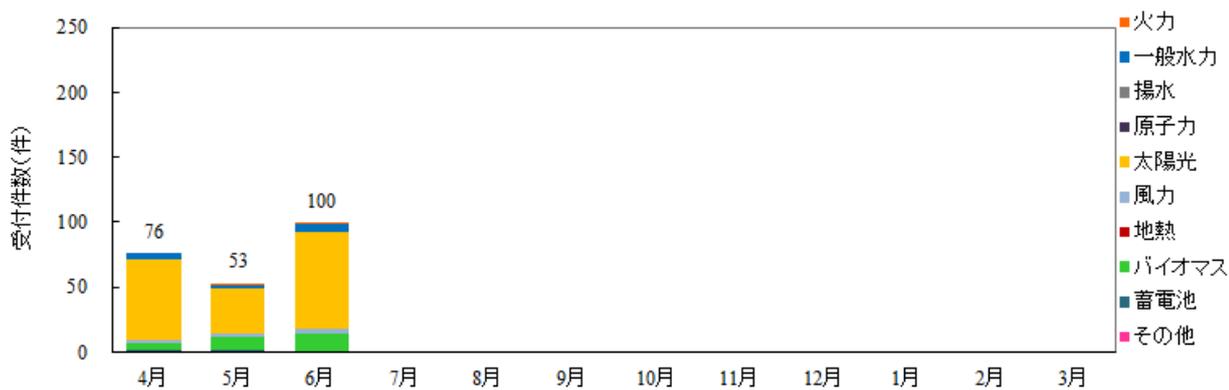


図16 契約申込み 電源種別毎の受付件数(全エリア合計)  
[2022年度4～6月]

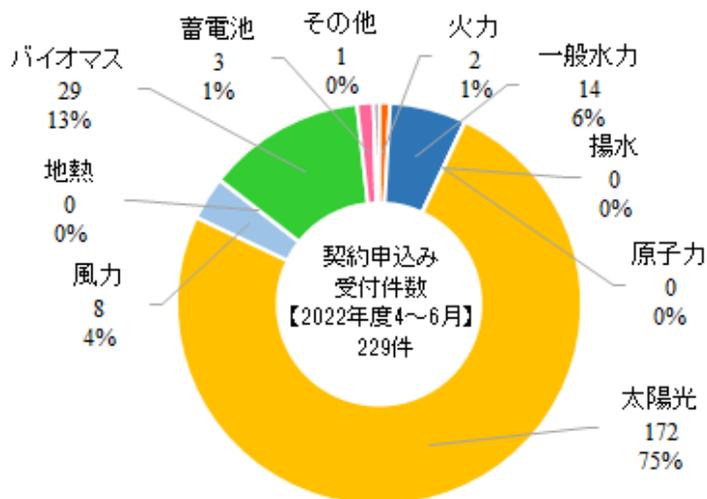


図17 契約申込みの電源種別毎の受付件数割合(全エリア合計)  
[2022年度4～6月]

[円グラフ種別]  
上段: 電源種別  
中段: 件数  
下段: 割合(%)

### 2.3.3. 回答件数

2022年度第1四半期（2022年4月～2022年6月）に回答を行った契約申込みの件数および検討期間は以下のとおり。契約申込みの回答件数は、前年度同時期と比較して増加。特に東京PGが増加。またノンファーム型接続を適用した回答を行った会社及びその回答件数は、前年度より増加。

表7 契約申込みの回答件数(一般送配電事業者合計)

(件)

受付会社	前年度同時期（2021.4～6月）						今回（2022.4～6月）						増減
	特別高圧		高圧		合計		特別高圧		高圧		合計		
北海道NW	4	(-)	1	(-)	5	(-)	4	(3)	12	(10)	16	(13)	11
東北NW	24	(-)	6	(-)	30	(-)	14	(3)	5	(1)	19	(4)	▲ 11
東京PG	0	(-)	12	(7)	12	(7)	1	(1)	73	(50)	74	(51)	62
中部PG	1	(-)	11	(-)	12	(-)	7	(1)	21	(-)	28	(1)	16
北陸送配	2	(-)	1	(-)	3	(-)	7	(1)	0	(-)	7	(1)	4
関西送配	6	(-)	4	(-)	10	(-)	7	(-)	18	(-)	25	(-)	15
中国NW	0	(-)	4	(-)	4	(-)	1	(-)	6	(1)	7	(1)	3
四国送配	0	(-)	1	(-)	1	(-)	4	(-)	3	(-)	7	(-)	6
九州送配	3	(2)	3	(-)	6	(2)	2	(1)	4	(-)	6	(1)	0
沖縄電力	0	(-)	0	(-)	0	(-)	0	(-)	0	(-)	0	(-)	0
合計	40	(2)	43	(7)	83	(9)	47	(10)	142	(62)	189	(72)	106

※1 ( )内はノンファーム型接続を適用した回答を再掲

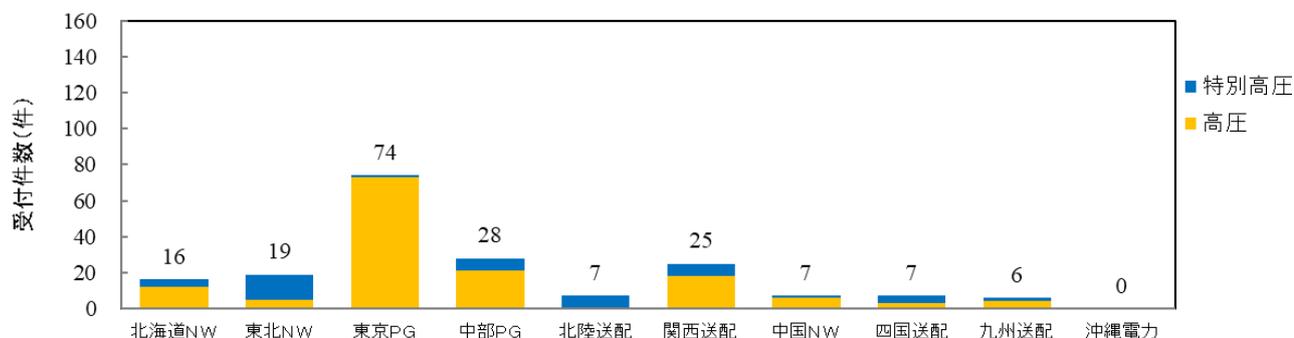


図18 契約申込み 回答件数(広域機関および一般送配電事業者別)  
[2022年度4～6月]

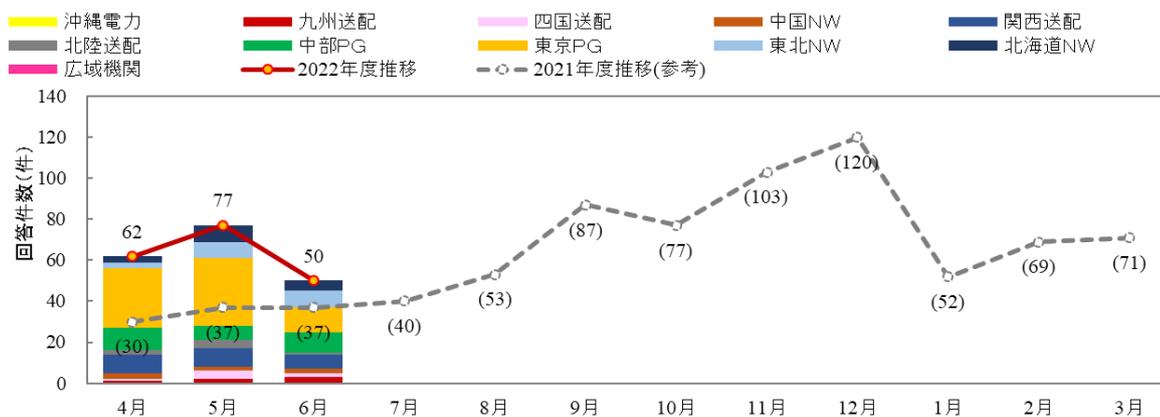


図19 契約申込み 回答件数(広域機関+一般送配電事業者)  
[2022年度4～6月]

### 2.3.4. 検討期間

2022年度第1四半期(2022年4月～2022年6月)に回答を行った契約申込みの検討期間は以下のとおり。なお、検討期間については、送配電等業務指針第98条に基づき、6か月を標準検討期間として確認した。

契約申込みの検討期間(6か月)を超過している件数は、全体の10%。超過理由の主な内容は、申込者都合(申込書不備、申込内容変更)が多い。

表8 契約申込みの検討期間(一般送配電事業者別)

(件)

受付会社	回答件数	6か月以内	6か月超過	超過理由									
				A	B	C	D	E	F	G	H	I	
北海道NW	16	15	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
東北NW	19	18	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
東京PG	74	63	11	5	2	1	1	0	2	0	0	0	0
中部PG	28	27	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
北陸送配	7	5	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
関西送配	25	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中国NW	7	6	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
四国送配	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
九州送配	6	4	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
沖縄電力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	189	170	19	7	4	1	3	0	3	0	0	0	1

(発電設備等契約申込みの回答期間)

第98条 一般送配電事業者は、次の各号の区分に応じ、発電設備等契約申込みの回答を、原則として、次の各号に掲げる期間内に行うものとする。

- 一 発電設備等系統連系希望者が低圧の送電系統への連系等を希望する場合 発電設備等契約申込みの受付日から1か月
- 二 前号に該当しない場合 発電設備等契約申込みの受付日から6か月又は発電設備等系統連系希望者と合意した期間

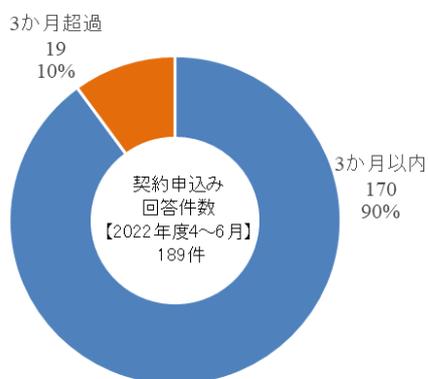


図20 契約申込みの回答件数および検討期間実績  
(広域機関+一般送配電事業者合計)  
[2022年度4～6月]

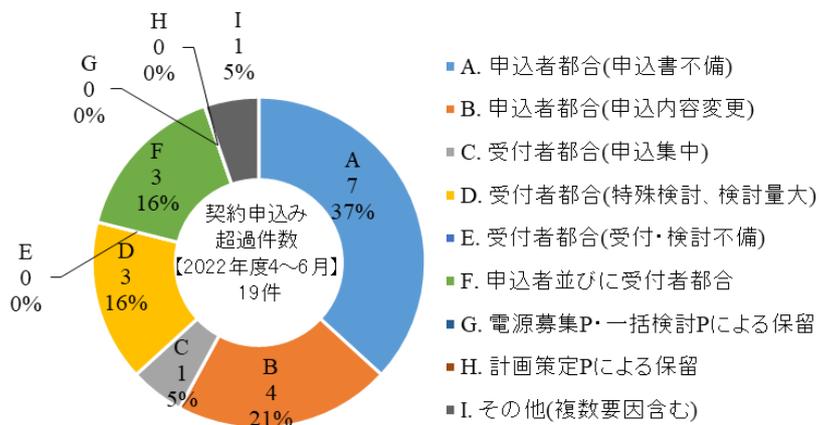


図21 契約申込みの回答予定日超過理由  
(広域機関+一般送配電事業者合計)  
[2022年度4～6月]

[円グラフ種別]  
上段:超過理由  
中段:件数  
下段:割合(%)

回答期間超過理由の分類については、以下のとおり。

A. 申込者都合（申込書不備）

申込者の書類不備・不足など申込者に起因する場合

B. 申込者都合（申込内容変更）

申込者による申込後の内容変更など申込者に起因する場合

C. 受付者都合（申込集中）

同一地点や同一時期に申込が集中したなどの理由により、当該一般送配電事業者の検討が輻輳し、検討に時間を要した場合

D. 受付者都合（特殊検討，検討量大）

特殊検討<sup>※1</sup>が必要となるなどの理由により、当該一般送配電事業者の検討量が多く、検討に時間を要した場合

E. 受付者都合（受付・検討不備）

一般送配電事業者の受付や検討に不備があった場合

F. 申込者並びに受付者都合

上記の申込者都合と受付者都合の両方に起因する場合

G. 電源接続案件募集プロセス・電源接続案件一括検討プロセス

電源接続案件募集プロセス<sup>※2</sup>および電源接続案件一括検討プロセス<sup>※2</sup>の募集締切後、系統状況が確定するまで回答保留している場合

H. 計画策定Pによる保留

計画策定プロセス<sup>※3</sup>の開始に伴い系統状況が確定するまで回答保留している場合

I. その他（複数要因含む）

上記以外の理由によるもの

※1 特殊検討例は、以下の通り

- ・合理的な設備形成の検討に時間を要しているため  
（事業者提案にあたり複数案の工事が考えられる場合などにその決定までに時間を要す）
- ・上位系統増強工事が発生することで検討量が増加したため
- ・近隣で既に複数の先行事業者が連系しており、最適な配電線ルート選定に時間を要したため
- ・当該案件とは別の設備増強工事等が絡み、工事内容について多様な検討（精査）が必要となったため
- ・検討途中での大規模電源の連系申込みに伴い、対策内容の再検討が必要となったため

※2 近隣の電源接続の可能性を募り、複数の電気供給事業者により工事費負担金を共同負担して系統増強を行う手続きのこと

※3 広域系統整備計画の策定において必要となる手続きのこと

### 2.3.5. 回答予定日超過案件（検討継続中(未回答)）の状況

2022年度第1四半期末（2022年6月末）時点において回答予定日を超過し、かつ検討継続中（未回答）である件数は以下のとおり。なお、申込者による契約申込みの継続意思がない案件については、集計の対象から除外した。

表9 契約申込みの回答予定日超過件数（検討継続中(未回答)）

受付会社	2022年3月末	2022年6月末	増減
北海道NW	10	10	0
東北NW	7	4	▲ 3
東京PG	54	63	9
中部PG	3	0	▲ 3
北陸送配	6	4	▲ 2
関西送配	10	10	0
中国NW	1	0	▲ 1
四国送配	0	0	0
九州送配	43	48	5
沖縄電力	0	0	0
合計	134	139	5

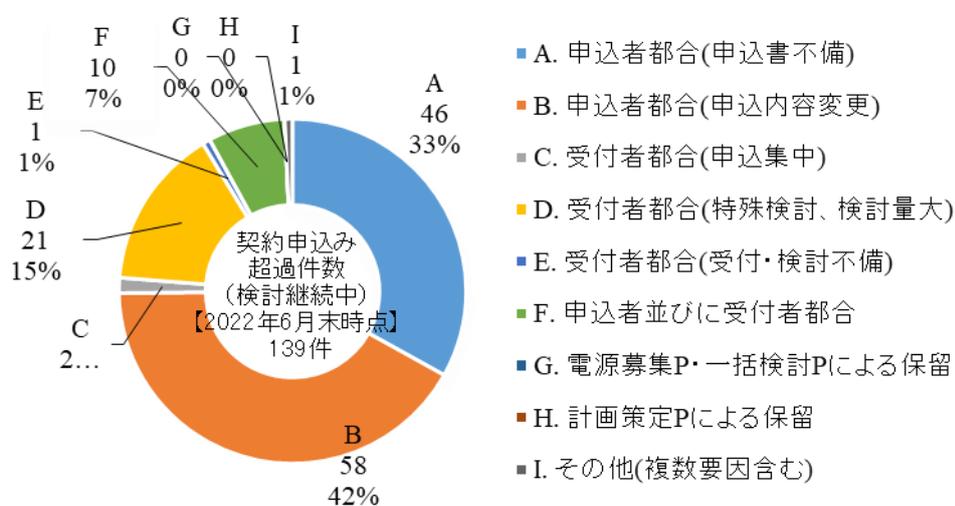


図22 契約申込み 回答予定日超過理由（検討継続中）  
（広域機関＋一般送配電事業者合計）  
[2022年6月末時点]

[円グラフ種別]  
上段: 超過理由  
中段: 件数  
下段: 割合(%)

## <参考1> 年度推移

広域機関発足（2015年4月）以降における広域機関並びに一般送配電事業者において実施した系統アクセス業務に関する実績（「事前相談」、「接続検討」、「契約申込み」の受付状況）の推移は以下のとおり。

事前相談は2017年度をピークに減少していたが、2021年度から増加傾向に変化。一方、接続検討および契約申込みは2020年度から増加傾向に変化。

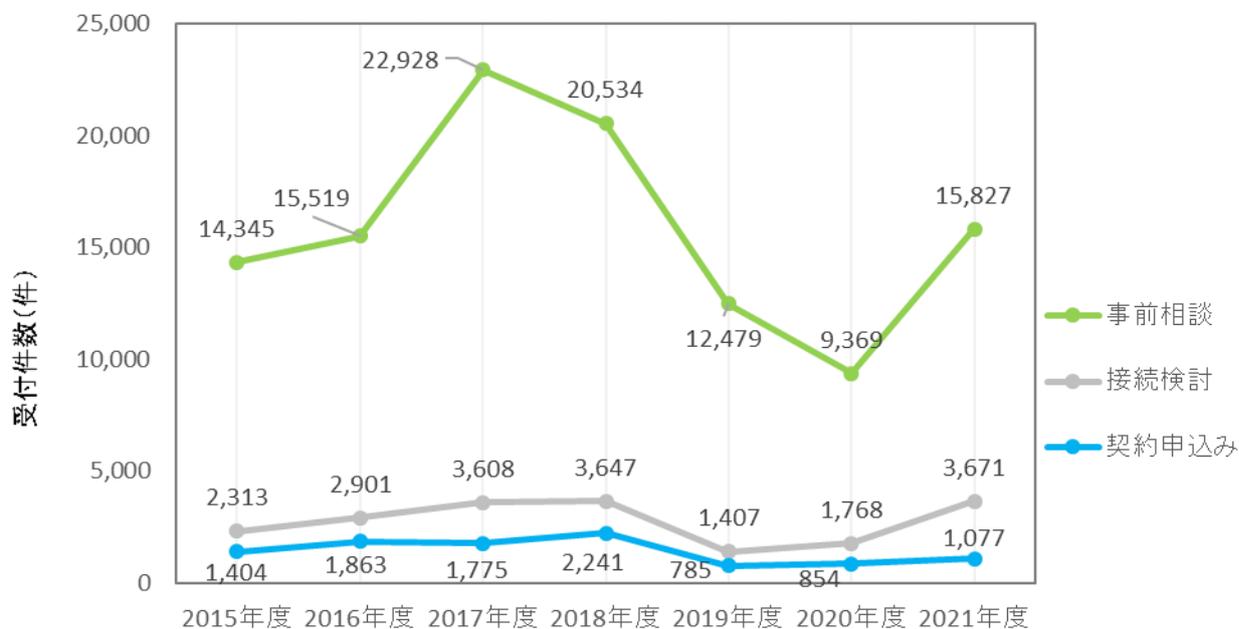


図23 年度別 事前相談・接続検討・契約申込みの受付件数の推移

### (1) 事前相談

表10 事前相談の各社別受付件数の推移

(件)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 4~6月
広域機関	100	333	111	76	41	27	68	26
北海道NW	396	637	1,592	646	237	567	1,733	456
東北NW	2,300	1,705	2,529	2,853	1,502	1,181	1,910	635
東京PG	4,629	3,882	5,396	2,659	1,187	1,064	3,410	751
中部PG	2,059	3,472	4,136	4,110	1,840	1,819	2,045	925
北陸送配	332	425	478	622	262	214	339	77
関西送配	1,930	2,076	3,528	4,318	2,128	1,442	2,200	828
中国NW	1,123	1,256	2,744	2,405	1,520	895	1,500	415
四国送配	425	390	546	804	257	326	624	212
九州送配	1,038	1,256	1,796	2,003	3,484	1,790	1,969	614
沖縄電力	13	87	72	38	21	44	29	5
合計	14,345	15,519	22,928	20,534	12,479	9,369	15,827	4,944

## (2) 接続検討

表 11 接続検討の各社別受付件数の推移

(件)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 4～6月
広域機関	70	83	53	58	83	76	76	22
北海道NW	43	106	323	229	65	89	385	83
東北NW	369	415	443	615	363	424	679	82
東京PG	638	811	1,085	853	287	443	1,382	397
中部PG	290	453	485	585	163	230	391	133
北陸送配	56	102	118	115	79	55	54	20
関西送配	262	312	354	328	91	137	233	48
中国NW	191	243	315	431	91	106	206	58
四国送配	92	134	139	110	42	29	75	22
九州送配	300	238	291	315	138	173	185	59
沖縄電力	2	4	2	8	5	6	5	2
合計	2,313	2,901	3,608	3,647	1,407	1,768	3,671	926

表 12 接続検討の電源種別毎の受付件数の推移

(件)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 4～6月
火力	118	66	41	25	59	60	32	8
一般水力	107	106	132	145	182	241	245	38
揚水	0	0	0	0	0	0	0	0
原子力	0	0	0	0	0	0	0	0
太陽光	1,731	2,005	2,602	2,806	481	766	2,498	673
風力	165	368	340	303	410	326	436	69
地熱	16	17	17	14	38	55	54	7
バイオマス	175	335	469	341	221	305	327	80
蓄電池	-	-	-	-	-	-	-	47
その他	6	7	11	13	21	18	83	5
合計	2,318	2,904	3,612	3,647	1,412	1,771	3,675	927

※接続検討1件に対し複数の電源種別が混在する場合、電源種別件数としては、複数の電源種別でカウントしているため、契約申込みの受付件数の合計値とは一致しない場合がある。

## (3) 契約申込み

表 13 契約申込みの各社別受付件数の推移

(件)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 4～6月
北海道NW	26	37	187	46	25	25	85	13
東北NW	217	215	211	329	232	332	115	53
東京PG	161	538	277	618	174	174	413	95
中部PG	209	357	267	400	94	96	141	22
北陸送配	38	83	86	50	26	33	27	3
関西送配	190	233	256	251	57	70	112	20
中国NW	64	147	196	242	45	37	67	9
四国送配	51	71	79	69	20	15	42	3
九州送配	447	177	210	232	110	69	73	10
沖縄電力	1	5	6	4	2	3	2	1
合計	1,404	1,863	1,775	2,241	785	854	1,077	229

表 14 契約申込みの電源種別毎受付件数の推移

(件)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 4～6月
火力	31	30	26	16	19	16	30	2
一般水力	58	70	76	96	124	135	155	14
揚水	0	0	2	0	0	0	0	0
原子力	0	0	0	1	1	0	2	0
太陽光	1,212	1,462	1,252	1,900	375	440	685	172
風力	44	168	229	78	113	148	55	8
地熱	7	8	5	3	11	15	15	0
バイオマス	56	123	187	143	138	95	125	29
蓄電池	-	-	-	-	-	-	-	3
その他	0	2	3	5	7	6	14	1
合計	1,408	1,863	1,780	2,242	788	855	1,081	229

※契約申込み1件に対し複数の電源種別が混在する場合、電源種別件数としては、複数の電源種別でカウントしているため、契約申込みの受付件数の合計値とは一致しない場合がある。

## <参考2> 電源接続案件一括検討プロセス実施状況

2022年度第1四半期末（2022年6月末）時点における電源接続案件一括検討プロセス（主宰者：一般送配電事業者）の実施状況※は以下のとおり。総数20件のうち、2022年6月末時点で6件が完了。

※2022年6月末時点の実施状況を記載しているため、本資料公表日の実施状況とは異なる場合がある。

表15 電源接続案件一括検討プロセスの実施状況一覧

会社	件数	対象エリア	開始決定日	応募申込受付開始日	プロセス完了(予定)日
北海道	1件	弟子屈	2022/4/28	2022/5 下旬頃	2023/10 頃
東北	8件	福島	2021/3/24	2021/4/26	2022/10 下旬頃
		山形・本荘由利	2021/3/26	2021/4/28	2022/10 下旬頃
		青森県下北	2021/5/19	2021/6/16	2022/12 中旬頃
		岩手県北部	2021/8/12	2021/10/7	2023/4 月上旬頃
		宮城県北西	2021/8/13	2021/10/8	2023/4 月上旬頃
		新潟県村上	2021/12/14	2022/1 中旬頃	2023/7 下旬頃
		宮城県北東および東部大崎	2021/12/15	2022/1 中旬頃	2023/7 中旬頃
		青森県三戸	2021/12/16	2022/1 中旬頃	2023/8 月上旬頃
東京	1件	群馬東部	2021/7/13	2021/8/13	2023/6 下旬頃
中部	1件	長野県北部小谷村	2021/9/3	2021/10/1	2023/4 下旬頃
北陸	2件	石川県白山市南部	2020/10/30	2020/11/30	2021/12/1 完了
		石川県能登	2020/11/25	2020/12/25	2022/7 下旬頃
中国	1件	広島県神石高原町、岡山県高梁市・吉備中央町および周辺	2021/2/5	2021/2/16	2021/10/21 完了
九州	6件	大分県西大分	2021/11/11	2021/1/29	2022/1/21 完了
		鹿児島県霧島	2021/1/29	2021/2/26	2021/12/22 完了

		鹿児島県大口	2021/4/5	2021/5/10	2022/1/26 完了
		大分県日田	2021/7/29	2021/8/26	2023/5 下旬頃
		熊本県菊池	2021/8/4	2021/9/1	2022/3/24 完了
		大分県山香・柳ヶ浦	2022/4/28	2022/5/27	2023/12 下旬頃